

やりたいことやったもん勝ち!

名前のない新聞

2013年
8月10日(土)
なな☆こん特別号

名前のない合唱団
裏パンフ制作委員会
編集・発行

来たれ! 益楽男

平田由布氏が振る
男声合唱団
益楽男グループ
masuraoglee.web.fc2.com

第2ステージはひたすら「ななし」らしく!

名前のない合唱団(ななし)コンサート、略して「なな☆こん」。第2ステージは演奏したい曲を持ち寄って有志グループで披露する「やりたいことやったもん勝ち」ステージ。マイクパフォーマンスあり、女声合唱あり、色物(?)のある意味では最も「ななし」らしい「こた煮」な取り合わせになりました。それでは曲紹介とともに各リーダーに今日のステージに寄せる思いを聞きます。

1. 「団員募集の歌 なな☆こんバージョン」
作詞:内藤学 作曲:川浪龍
2. 「藍川総合製作所 社歌」
作詞・作曲:藍川総合製作所 編曲:川浪龍
3. 「飛翔-Xenogears-」
作詞:PUPI 作曲:光田康典 編曲:沙 P&Taka
4. 「Chi d'amor sente」
作詩:Giovanni Fiorentino 作曲:Kodály Zoltán
5. 「勇気 100%」
作詞:松井五郎 作曲:馬飼野康二 編曲:川浪龍

オープニングは「団員募集の歌 なな☆こんバージョン」。ななしのテーマソングとして定着したこの曲ですが、今回も相当な難産の末によく歌詞が決まり、楽譜が出来たのがなんと最終練習当日でした。相変わらずバタバタしておりませんが妥協せず悩んだ分だけ楽しく仕上がりました(ハードル上げちゃった)。裏面に特集記事がありますのでこちらもご覧くださいね。

2曲目「藍川総合製作所社歌」、こちらは第2ステージの司会を務めるハイパーフェルトアーティスト、藍川りのさんが興じた会社の社歌です。同社は「埼玉県北部にあるらしい実態不明の、藍川さんが総合的にいろんなモノを製作する会社」といいます。創業1年。今回のなな☆こんのパンフレット・チケットなども同社の製作です。藍川さんは「会社を作った最初から始めたのがこの社歌。今回無理して、迷惑かけて、急いで作って、なんとか間に合って、初演にこぎ着けられてよかったです。当初より『ななしに歌ってほしいなあ』って思いながら作っていたので、本当にうれしいです。」と思いを語ってくれました。なんとリーダー自ら指揮にも挑戦しちゃいます。

3曲目は「飛翔 Xenogears」1.5ステ(下欄参照)に続きマイクを使った演奏です。疾走感あふれるこの曲は、ゼノギアスというゲームの音楽にPUPIさんアレンジされたもの。ここでは7声十打楽器力ホソで演奏します。4曲目はななし15年目にして初の女声合唱です。ユダヤの「4つのイタリヤのマドリガル」より「Chi d'amor sente」を演奏します。リーダーのなつこさん「女声合唱をやったかったのはなぜですか?もしかして混声合唱(というかななしの男声陣)に嫌気がさしたとか……?」と恐る恐る聞いてみたら「もちろん、メソパートが歌いたかったから!」ですって。「ソプラノってキラキラじゃないし、アルトは低くて声響かないし、メソゾ

プラノが天職(?)だと思ってるんだもん!」わりと自分勝手な動機だったようです。まさにやりたいことやってみたという感じですね。2ステのラストを飾る5曲目は「勇気100%」。テレビアニメ「忍たま乱太郎」の主題歌として光GENJIをはじめとしたジャニーズのグループによって歌い継がれ、20年の長きにわたり愛されてきたこの曲を、今回は昨年の埼玉県合唱祭で初演した名前のない合唱団オリジナルバージョンでお送りします。歌詞にある「やりたいことやったもん勝ち」がこのステージの、そして名前のない合唱団全体に通じるコンセプトでもあります。リーダーで編曲者の川浪さんは「歌いたい、歌を歌いたいように編曲し、ななしに持ち込んだら指揮者が『やろうぜ!』と言ってくれました。まさか、県合唱祭という大舞台で自分の編曲ものをやってみようとは、という感じでしたが、みんなが楽しそうに歌ってくれましたので編曲者冥利に尽きます。今日もまた大勢で楽しく演奏したいですね。」と語っています。

以上のように、第2ステージの各曲は各リーダーの思い、そしてそれを後押しする仲間たちの思いも乗せて演奏します。会場の皆さんに届きますように!

1~2週間休憩中 やります、1.5ステ!

「休憩に入って5分後ぐらいからゲリラ的にやります。大きく書いておいてください。」という宣言がありました。宣言したらゲリラじゃないような気もしますが……。第1ステージのあとに1.5ステージがあり、マイクを使ったヴォーカルパフォーマンスを行うそうです。リーダーの松田崇志さんに取材しました。

—そもそもこのきうかけは?
松田 私はファイナルファンタジー(FE)などのRPGが好きで、そこで流れる音楽も同じく好きなのですが、それを口ずさんでいるうちに、いつしか舞台上でゲーム音楽を歌いたいという夢を持つようになりました。そこから様々な人の協力があり、ここまでこぎ着けることが出来ました。

—「松田さんの夢を叶える会」というのが存在したみたいですね。ステキです。ちなみにメンバーはどうやって決まったのですか?
松田 私のなかで「これだ!」と思える歌い手に声を掛けて集めました。

—その辺もある意味RPGのパーティ作りっぽい感じですね。では曲目の紹介をお願いします。

松田 1曲目は「Final Fantasy Main Theme」F.F.シリーズをプレイしたことがある方ならばどこかで耳にしているであろうこの曲は、あるときは物語の始まりを告げ、またあるときはフィナーレを飾る、壮大な曲となっています。ヒヤダインさんという方がアレンジし、ニコニコ動画に投稿していたものをもとに、みんなが歌えるようメンバーに編曲してもらいました。続いてF.F.VIIIから「Fisherman's Horizon」です。水平線に浮かぶのどかな農村が舞台なのですが、美しいメロディと味のある歌詞に注目し聴いていただけると嬉しいです。

—最後に意気込みや思いを
松田 思いはただひとつ、ゲーム音楽を歌いたい!歌詞がなければ創ればいいじゃないか!BGMの枠を越えた新感覚のゲーム音楽をお楽しみください。

—お話ありがとうございました。1.5ステ楽しみにしています。

◆
通常の練習の後にも遅くまで残って歌い込みをするなど、相当気合いが入っているようです。それでは松田さんの夢のゆくえを、会場の皆さんも是非見届けてください!

